

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公表番号】特表2015-509683(P2015-509683A)

【公表日】平成27年3月30日(2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-021

【出願番号】特願2014-560057(P2014-560057)

【国際特許分類】

H 04 B 7/04 (2006.01)

H 04 W 88/02 (2009.01)

【F I】

H 04 B 7/04

H 04 W 88/02 1 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月26日(2016.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

適合型受信ダイバーシティを実装するように構成されたモバイル装置であって、
プロセッサと、

少なくとも第1と第2のダイバーシティモードで動作するように構成された1つ以上の
無線受信機であって、前記第1のダイバーシティモードは第1のデータ容量をサポートす
る第1のダイバーシティ対応方式を用い、前記第2のダイバーシティモードは第2のデータ
容量をサポートする第2のダイバーシティ対応方式を用いる、1つ以上の無線受信機と
、

前記プロセッサと前記1つ以上の無線受信機とデータ通信を行うコンピュータ化ロジックであって、前記モバイル機器に、

容量条件及び接続性条件を評価させ、

前記容量条件及び前記接続性条件が満たされた時、前記第1のダイバーシティモードで動作させ、

前記容量条件又は前記接続性条件のうちのいずれかが満たされない時、前記第2のダイバーシティモードで動作させる、

よう構成されたコンピュータ化ロジックと、
を備えるモバイル装置。

【請求項2】

前記接続性条件が、1つ以上の連続したページング周期にわたる巡回冗長検査(CRC)
)障害の欠如を含む、請求項1に記載のモバイル装置。

【請求項3】

前記容量条件が、第1の閾値を超える基準信号対干渉電力と雑音比(RS SINR)
を含む、請求項2に記載のモバイル装置。

【請求項4】

前記容量条件が、前記第1のダイバーシティモードと関連付けられる第1の基準信号対
干渉電力と雑音比(RS SINR)と前記第2のダイバーシティモードに関連付けられ
る第2のRS SINRとの間の差を含む、請求項2に記載のモバイル装置。

【請求項 5】

前記容量条件が、前記第1のダイバーシティモードに関連付けられる第1のチャネル品質指標（CQI）と前記第2のダイバーシティモードに関連付けられる第2のCQIとの間の差を含む、請求項2に記載のモバイル装置。

【請求項 6】

前記容量条件が、前記第1のダイバーシティモードに関連付けられる第1のスペクトル効率と前記第2のダイバーシティモードに関連付けられる第2のスペクトル効率との間の差を含む、請求項2に記載のモバイル装置。

【請求項 7】

適応型受信ダイバーシティをインテリジェントに実行する方法であって、

（i）接続性条件及び（ii）容量条件を判定することと、

少なくとも第1のダイバーシティ対応方式と第2のダイバーシティ対応方式で構成可能な無線受信機を介して通信することであって、

前記第1のダイバーシティ対応方式は、前記第2のダイバーシティ対応方式より多くのデータ容量をサポートし得る、前記無線受信機を介して通信することと、

現在の信号品質測定値を容量条件と比較することと、現在の接続品質を接続性条件と比較することと、

前記第1のダイバーシティ対応方式で動作する時、

前記現在の信号品質測定値が前記容量条件を満たし、前記現在の接続品質が前記接続性条件を満たす時、前記第2のダイバーシティ対応方式に移行することと、

前記第2のダイバーシティ対応方式で動作する時、

前記現在の信号品質測定値が前記容量条件を満たさないか、前記現在の接続品質が前記接続性条件を満たさない時、前記第1のダイバーシティ対応方式に移行することと、

を含む方法。

【請求項 8】

前記第1のダイバーシティ対応方式が、多入力／多出力（MIMO）ダイバーシティ方式を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

前記第2のダイバーシティ対応方式が下位MIMOダイバーシティ方式を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記信号品質測定値が、信号対干渉電力と雑音比（SINR）を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項 11】

前記信号品質測定値がチャネル品質指標（CQI）を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項 12】

前記信号品質測定値が、前記第1のダイバーシティ対応方式に関連付けられる第1の信号品質測定値と前記第2のダイバーシティ対応方式に関連付けられる第2の信号品質測定値との間の差を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項 13】

前記現在の接続品質が、閾値又は1つ以上の制御チャネルの1つ以上の巡回冗長検査より大きい基準信号対干渉電力と雑音比（RS_SINR）に基づく、請求項7に記載の方法。